

平成 28 年度入学試験

一 般 学 科 試 験

桐朋女子高等学校音楽科

Ⅰ～Ⅲの各設問すべてに取り組み、それぞれの答えを解答用紙の所定の箇所に書きなさい。

注意事項

1. 問題用紙に落丁などある場合は、挙手をして申し出てください。
2. 退出は試験開始後 60 分以上経過してから可能です。ただし、終了時刻 5 分前以降の退出は、混乱を避けるために、認められません。
3. 終了時間前に退出する場合は、解答用紙の上に問題用紙を重ねて机の上に置き、挙手をして試験監督の許可を得て、静かに退出してください。

I・1 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(答えはすべて解答欄に書くこと)

教室にほんのいつとき起こった笑いとしぶんにそそがれる女子生徒の憧れのまなざしを、転校生は教壇の上でどんな気持ちで受け取っただろう。

ひよっとすると、そういうことには慣れっこになっているのかもしれない。転校という状況じゃないにしても、ア、はじめてのクラスで、入部希望のクラブで、あるいは電車のなかななかで。そして、そういうことにはそれこそ飽き飽きしているのかもしれない。

そんなふうな想像を思わずしてしまいうくらい、転校生はたしかにかっこよかった。背が高く、彫りの深い顔立ちがいかに東京の男の子という感じに見えた。

ほんと、ジャニーズもぶつとぶわ。ころのなかでわたしはそう思った。クラスの女子はきつとみんなそう思っているに違いなかった。

当の転校生はというと、そういったこと① イツサイにまるで無関心だった。どうでもいい、みたいな感じで立っていた。それもだらしなくじゃない。きちんと立ちながら、どうでもいい、この学校にもこの教室にもなんの興味もない、そんなふう立っていたのだ。それは、気づいていてそのうえで、照れとか気取りとか② 軽蔑とかで見せる無関心とはまるで違う、純粹な無関心③ だった。

それで、だろうか。転校生は明るい性格には見えなかった。どこか陰があるように見えた。こころのなかにかを抱えて、ひとりそこにいるように見えた。

そんな男子を見たのは生まれてはじめてだった。

転校生のそんなように、わたしは最初戸惑って、それからこころを惹かれた。先生が転校生を紹介したそのほんのわずかのあいだに、だ。

でもそれは、この男子を好きになったというのとは違う、と思った。

想像にすぎないけれど、転校生がだれかを好きになって付き合いはじめても一向にかまわなかった。それをこの目で見たりすれば、「ふーん」とか「なるほどねえ」とか思う。そういうふうな感じだった。

転校生は伊藤卓也といった。

転校の前日にちらっと見られただけで噂が広まるほどの④ 風貌は、東京から来たということとさらに⑤ フカ 価値がつけたいし、実際のところ、東京の子という感じがした。わたしたちのほとんどが、東京の子などほんとうは知らないのに、だ。廊下ですれ違ったとき、東京の匂いがした、と言い切った女子もいたほどだった。

「ずるかあ」

昼休みの渡り廊下で、絵里はそう言った。きつぱりと一度。その後もときどき思い出したように「ずるかあ」とつぶやいた。いや、それは、思い出したというより、わたしに転校生といっしょのクラスになったというたびきりの幸運を思い出させるために、というほうが正しいかもしれない。うん、きつとそうだな。

「なあ、絵里、いいこと思いついたわ」

「なに？」

「お弁当、うちのクラスに食べに来ればいいやん」

絵里の瞳が一瞬輝き、でもそれはたちまち暗く沈んだ。その瞳と同じくらい沈んだ調子で、

「そんなことしたら、仲間はずれになるばい」

と、絵里は答えた。

「ああ、そうかもしれん」

わたしも^⑤ドゥイした。

さもなければ学年中の女子を巻き込んだ大騒ぎが起こるかもしれない。ひとりが²そんなことをしたら、あたしもあたしもと、仲のいい友達、にわか友達を理由に、あっちからもこっちからも一年の女子が押し寄せてきそうだ。

「いくらなんでもそんなことにはならん。だいいち、ハキが許さんやろ」

絵里はそう言う。

「ハキはああだこうだ言うタイプじゃなかよ。でも、まあ、ハキが伊藤くんを好きかどうか、観察しといてあげてもいい」

恩着せがましくそう言うのと、

「あの子にときめかない女子なんておらん」

絵里が断言した。

絵里にはハキがいちばんの強敵らしい。同じクラスの活発で美人の女子は、いやでもいちばん先に目につくだろう。おまけにハキは頭もいい。ついこのあいだ終わったばかりのはじめての定期テストで一番の成績を取り、一番で入学したという噂を根拠のあるものにしたばかりだった。簡単にいえば、才色^⑥ケンピ。そういう女子を^⑦敬遠する男子ももちろんいるが、東京から来たクールな男子と地元の華やかな美少女とは、たしかにお似合いの組み合わせかもしれない。

ハキだって、はじめは意欲満々だった。ところが、何日か経った放課後、

「うちは、あんま好かん」

五、六人の女子が残っていた教室でそう宣言した。

「どうして？」

いつせいにみんなが聞く。

「気取つとうよ。話しかけてもろくな返事もせん」

と、ハキは言った。

「しかたないやん。³東京の子やもん」

「うちの言葉がわからんとかいな」

ひとりがそう言い、みんな爆笑した。

「そうかあ」

と、絵里は言った。

「だからあきらめることはなかよ」

ハキの宣言のあくる日の昼休み、その話を絵里にした。

「そうかあ」

⁴同じ言葉を繰り返すのは絵里の癖だ。

「実はな、うちも降りようと思うとつたとこばい」

気弱く言った。気弱く、というより、残念そうに。こころ残りがあるなら、降りなければいいのに。

「どうして？」

と、聞いてみる。

「どうして？ 考えてもみ。敵はまわりの女子じゃなか。伊藤卓也自身じゃき。伊藤卓也は、うちのことなんてなんの興味もなかとよ。ていうか、あいつ、じぶんはこんなところにおる人間ちやう思うとつちやなかと？」

「まさか」

と、わたしは答えた。

まさか。こころのなかで、そのまさかという言葉をもう一度繰り返してから、伊藤卓也のことを考えた。伊藤卓也がはじめてわたしたちの前に現れたときのことを。^⑧傲慢からものではないように思えたあの完全な無関心を。

傲慢でなければなんだろう。

戸惑い。そう、伊藤卓也は戸惑っていたのではないかと、わたしは思った。いくらおとなびていたって、東京の子だからといって、結局は十五の男子だ。わたしたちと同じように親の保護下で生きている。というか、生きなくてはならないことになっている半端な人間にすぎない。

彼もだから、親の都合でこっちに来なければならなくなって、ただ戸惑っていたのではないか。そんなふうにしたとき、伊藤卓也が転校してきた日の朝、バスの窓から一瞬だけ見た紙ひこうきが浮かんだ。

あの紙ひこうきは、どこからどこへ飛んでいったのだろう。

「ほら、まだどこか行つとう」

絵里の声に我に返る。

「ごめん。なに？」

「なあ。伊藤卓也がどうしてこげん半端なときに転校してきたか、知つとう？」

「いや、知らん」

「なんでもな、有名な私立高校のどつかを辞めさせられたちゆうよ」

「だれから聞いたと？」

「だれかって…：噂じゃき」

「なんや、噂か」

「噂をばかにしたらあかんよ。そういう噂が出るってことは、それがドストライクじゃなくとも、その周辺に答えがあるちゆうことやき」

数学の難問でも解くときみたいな難しい顔で言う絵里がおかしくて、わたしはちよつと笑った。

「それにな」

「なに、まだあるん？」

「うん。あんな…：やっぱ、ええわ。笑うき」

「笑わんよ」

と、絵里に答えたわたしの声は、さっきの続きみたいにもう笑っている。絵里が怒ったふうに言う。

「もう笑つとうやん。とにかくやめたんや、うちとは似合わんからね」

絵里ばかりでなく、かなりの数の女子が、伊藤卓也の隣にじぶんの姿をそつと並べてみたのではないかとわたしは思った。

「あいつは、東京のお洋服、思うことにした」

「なにそれ？」

「由香、あんた、小学校のころ、洋服、どこで買うとった？」

「オオミヤ」

小学生のころだけではない、中学生のときもいまも、わたしが服を買ってもらうのはオオミヤだ。そのことを絵里は知っているのに、聞く。

「うちもそうや。でも中学になってからは、洋服とか文房具とかは、オオミヤでは買わん。うちは、博多で買うんよ。博多のほうが断然かわいいものがあるき。おしゃれじゃきね。

「**イ**、東京にはもつとその先のものが売つとうとよ」

「博多と東京じゃ、違わんでしょ。東京と同じデパートだつてあるし」

口元をすぼめて、チュッ、チュッ、チュッという音を出し、絵里は右手の人差し指を小さく振った。拒否のしるし。

「そりやあ同じものもあるけど、まだこっちに来てないものがたくさんあるんやわ。東京だつてな、新宿とか銀座とかじゃ違うし。同じ新宿でもな、伊勢丹とどことかはまた違うんだつてさ。同じブランドでもだよ。美砂ちゃんが言うとつた」

わたしは東京に一度も行ったことがないから、新宿と銀座の違いもわからないし、伊勢丹とどことかの違いもわからない。博多の三越になら行ったことがあるけど。

(中略)

昼休みが終わって教室に戻る。教室の入り口で、やっぱり昼休みを終えて戻ってきた伊藤卓也といっしょになった。

昼休み、伊藤卓也はひとりだ。ああ、またひとりでいたんだと思う。そう思うじぶんだつて、教室からひとり出て行って、ひとりで戻ってきているのに、同じことを伊藤卓也がすると、はつきりと、ひとりでいた感がつきまとう。

教室でお弁当を——もちろんひとりで——食べると、どこかに行ってしまう。どこでなにをしているのだろうか。

それにしても、男子はどうして伊藤卓也を誘わないのだろうか。

気取っているから好かんのやろうか。それとも、じぶんらが田舎もんに見えるんがいやなんやろうか。それじゃあ、女子と同じや。

チャイムが鳴って席につく。

窓際の前から二番目がわたしの席だ。伊藤卓也は、真ん中の列のいちばん後ろ。わたしの席からは見えない。さつき、入り口でいっしょになった伊藤卓也のことをつい考えてしまう。見えない伊藤卓也のことを考えるのは、なんだか好きみたいで決まりが悪い。でも断じてそんなんじゃない。

だいいち、好きとか嫌いとかは、好きは好きで嫌い嫌いというようなシンプルなじぶんの気持ちだから間違いようもない。それに、わたしがだれかを好きになるなら、たちどころに好きになるのだからとうとうそんな予感がわたしにはある。徐々に気持ちが傾いていくのではなく、一気にばーつと。

(石井睦美『皿と紙ひこうき』講談社、二〇一〇年)

問一 波線部①～⑧のカタカナは漢字に、漢字はその読みを書きなさい。

問二 空欄ア・イに入る接続詞として適当なものを、次の a～e からそれぞれ選びなさい。

- a つまり b だけど c そして d たとえば e だから

問三 傍線部1「純粋な無関心」を、後に「わたし」は何だったと考えるに至りましたか。本文からそのまま抜き出しなさい。

問四 傍線部2「そんなこと」とは具体的にどんなことですか。本文中の言葉を使って書きなさい。

問五 傍線部3「東京の子やもん」という彼女たちの、「東京の子」のイメージはどのようなものだと考えられますか。四十字以内で説明しなさい。

問六 傍線部4「同じ言葉を繰り返すのは絵里の癖だ」とあるが、絵里はどんな言葉を繰り返していますか。本文中から四文字で二つ抜き出しなさい。

問七 傍線部5「それじゃあ、女子と同じや」とはどういうことか。A～Dから適当なものを選びなさい。

A だらしのない自分たちとは異なり、身の回りの整理整頓がしつかりとできている転校生に対して、後ろめたい気持ちを抱いていること。

B ジャニーツもぶつとぶような転校生の容姿に対して引け目を感じ、東京の匂いがすることを理由に仲間はずれにしていること。

C 自分たちに対して無関心であるかのような転校生に対して、気取っていると考えたり、自分たちとは不釣り合いだと感じたりしていること。

D 転校生に好意を寄せているにもかかわらず、うわべはよそよそしく振る舞うことによつて、相手の気を引こうと考えていること。

問八 二重傍線部「あいつは、東京のお洋服、思うことにした」とはどういう意味だと思えますか。六〇字以内であなたの考えを書きなさい。

I・2 次の「」に適当な語を漢字で入れてことわざを完成させ、その意味をア～オから一つ選びなさい。(答えはすべて解答欄に書くこと)

- ① 「」の上のたんこぶ ② 「」によりをかける
③ 「」をきく ④ 「」をひねる
⑤ 「」を運ぶ

- ア 仲介する イ 張り切る ウ 疑問に思う
エ 邪魔になる オ 自身で出掛ける

II 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

Wolfgang Amadeus Mozart was born in ^ア1756 in Salzburg, Austria. 1)彼は家族から“Wolfie”と呼ばれていた。 His father was a fine composer and musician who ^イ(teach) both of his children to play instruments. He was surprised by Wolfie’s amazing talent. His young son wrote his first minuet when he was only 5 years old, and ^イ(teach) himself to play the violin. 2)The songs he wrote were so good that no one would believe that a child really wrote them. By the time he was 8, he wrote a whole symphony.

Wolfie became famous for his amazing talent. He didn’t just create beautiful music, his skills were better than very talented adults. Plus, he truly loved writing music. Many people ^ウ(think) that he must be the greatest musical genius of all time. He traveled to Italy and played for many important people and even met the Pope! It was no surprise to anyone that Wolfie became a professional composer when he ^エ(grow) up. But 3)even though Mozart was a famous musician, he did not always make enough money by selling his music. Sometimes he was irresponsible and ^オ(spend) too much money, and sometimes he was not treated fairly for his work.

Mozart was very sick as an adult, and was working on a Requiem Mass when he died from his illness at the young age of 35. He did not finish this sad and beautiful work. 4)If we look at how much money he made, it may seem that Mozart was not successful as a musician. But now we think differently. He wrote over 600 works in his short life including symphonies, concertos, and operas. Musicians continue to play, record and perform his music today.

注：

composer 作曲家
amazing 驚くべき
talent 才能
adult おとな
genius 天才

Pope 教皇
irresponsible 無責任な
fairly 公正に
Requiem Mass 鎮魂ミサ、
レクイエムミサ

successful 成功した
differently 違ったふうに
including ～を含めて

設問 1. 下線アの数字の読み方を、英語のつづりで書きなさい。

設問 2. () イ～オの単語を過去形にしなさい。

設問 3. 下線 1 の日本語を英語に訳しなさい。

設問 4. 下線 2～4 の英語を日本語に訳しなさい。

設問 5. 本文に使われている英語の表現を参考にして、次の日本語を英語に訳しなさい。

1. 私はフランスを旅行して、たくさんの美しい教会を見ました。
2. 彼女は7歳のときに、初めて詩を書きました。
3. 彼女はピアノを弾くことが本当に好きでした。

設問 6. 以下の質問についてあなたの考えを30～40単語程度の英文で自由に書きなさい。(文中に数字を使う場合、年代以外は英語のつづりで書いてください。)

Do you like Mozart? If “Yes”, why? If “No”, why not?

III

次の問に答えなさい。（解答欄には答えのみでなく、途中の計算式も書きなさい。）

問1 $(-3a)^2 \times b \div 6a$ を計算しなさい。

問2 等式 $3a + 5b = 7c$ を b について解きなさい。

問3 $\sqrt{27} + 3\sqrt{12} - 4\sqrt{3}$ を計算しなさい。

問4 $a^2b - 49b$ を因数分解しなさい。

問5 $a = \frac{2}{5}$ のとき $(a+1)(a-4) - a(a+7)$ の式の値を求めなさい。

問6 2次方程式 $(x-1)^2 + 6 = -5x + 5$ を解きなさい。

問7 1次関数 $y = -\frac{2}{3}x + 6$ において、 y の変域が $-2 < y < 10$ となるような、 x の変域を求めなさい。

問8 図1のように、線分 AB を直径とする円 O の周上に点 C, D があり、線分 AB と CD の交点を E とする。 $\angle BDE = 53^\circ$ 、 $\angle AED = 78^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

問9 Aさんは、3日練習したら1日休みがある部活に所属している。1週目の月曜日から練習を始めると、練習日は表1のようになる。ただし、○は練習日、/は休みの日を表している。次の問いに答えなさい。

- (1) 練習日から数えて10回目の休みの日は何曜日になるか答えなさい。
- (2) 練習開始日から数えて10週目の木曜日は、何回目の練習日になるか答えなさい。

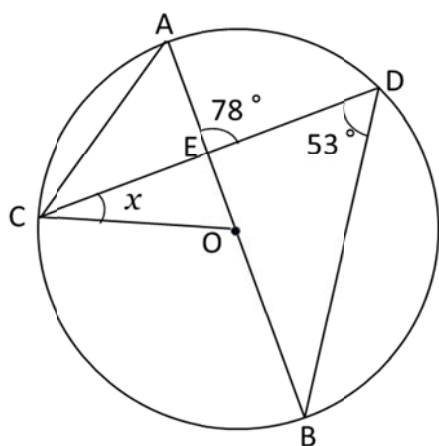


図1

	月	火	水	木	金	土	日
1週目	○	○	○	/	○	○	○
2週目	/	○	○	○	/	○	○
3週目	○	/	○	○	○	/	○
4週目	○	○	/	○	○	○	/
⋮							
⋮							

表1

I・1 解答欄

専 門	
受 付 番 号	
氏	名

問八						問六	問五				問四	問二	問一		
												ア	⑦	④	①
												イ			
													⑧	⑤	②
												問三			
														⑥	③
						問七									

I
•
2
解答欄

④	①
⑤	②
	③

III

(解答欄には答えのみでなく、途中の計算式も書きなさい)

問 1		問 2	
問 3		問 4	
問 5		問 6	
問 7		問 8	
問 9	(1)	(2)	